

展覧会出品 ガイド

全日本ペン書道展に 出品してみましよう!



出品は個人または
支部・団体でお申し込みください。

展覧会はどなたでもご参加いただけます。個人参加はもちろん、お教室で学ばれている方は先生から、ご家族やご友人と一緒に団体でご出品いただくことができます。支部・団体でご出品される際は、団体目録をお送りいたします。事務局までお申し込みください。HPからプリントアウトも可能です。

師範が挑戦!

自運創作部

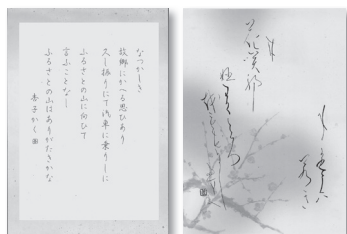
臨書部

展覧会の中でひととき目をひく、「自運創作部」「臨書部」は、日本ペン習字研究会の師範のみが出品できる部門です。今回展からA3サイズ以上となります。実物大手本もご用意。手本課題をじっくり観察し書かれても、ご自身で研究している題材でもOKです。かな部、手紙文部、筆ペン部[師範位]へのご出品もお待ちしています。

規定部 漢字部 かな部 手紙文部 筆ペン部 自由作品部

複数の部門に出品できる

「ペンの光」でおなじみの部門です。日頃学習している部門はもちろん、はじめての部門に挑戦してみるのもオススメです。複数の部門にご出品いただけるので、まずはお手本を見ながら、色々な課題を書いてみましょう!



Pick up! 自由作品部

自由作品部は、段級位に関係なくどなたもご出品いただける部門です。作品サイズは小さいものから、最大B4サイズまで。好きな言葉を書いたり、竹ペンやガラスペン等の筆記具で自由に揮毫できます。筆ペンでかなを書いたり、月例競書にはない独自の作品をお書きいただけます。

賞状・賞品を授与します!

全日本ペン書道展では、一般の部特選以上の褒賞を受賞した方には、会期中に開催いたします授賞式にて賞状、賞品を授与いたします。授賞式の後には、受賞を記念した祝賀会を開催いたします。審査員の先生、誌友の皆様とのコミュニケーションの場となります。

特別な褒賞! 優秀会員賞

4つ以上の部門にご出品された方に贈られます。授賞式にて賞状、賞品を授与します。色々な部門にご参加いただき、書技を磨いてください。

がくぶん創立100周年記念賞

日本ペン習字研究会の母体である学文社は、今年で創立100周年を迎えます。通信教育事業の伝統を今も守っています。87回展では、創立を記念した褒賞を設けました。自運創作部、臨書部にご出品の方の中から優秀な作品に贈られます。



第87回全日本ペン書道展

作品募集

日本ペン習字研究会最大の展覧会「全日本ペン書道展」が開催されます! 「ペンの光」で学ばれている皆様は、日頃の学習の成果を発揮する場となります。個人出品はもちろん、お教室の皆様と、お友達やご家族と一緒にご出品ください。どなたでも自由に参加できる公募展です。各部門の手本課題を用意していますので、はじめての方も安心してご出品ください。ご出品を心よりお待ちしております!

提出期間 4月15日(月)~5月7日(火)

展示期間 7月21日(日)~7月22日(月)

会場 東京都立産業貿易センター浜松町館



▲審査会には全国から多くの審査員が集まります。

▼出品作品は全て会場内に壁面展示いたします。



▲授賞式では、賞状や賞品を田中会長、三ツ井理事長から授与いたします。



全日本ペン書道展は、今年で87回展。歴史ある展覧会です。これまでもこれからも「ペン習字」を通じて、人と人とのつながりを大切にしています。ぜひ日ペンの一員として展覧会へご参加ください。

今年の展覧会の募集要項が発表されました。各部門の手本課題をご参照ください。毎月の課題より文字数が多く、作品サイズも大きくなりますが、難しくとらえずに、一字一字書き進めましょう。書くことを楽しみながら取り組んでください。会期は、2日間となります。ぜひ会場に足を運んでいただき、ご自身の作品はもちろん、審査員や色々な部門の作品を見てください。展覧会には、上手になるヒントがたくさんあります。今年の夏に会場でお会いできることを楽しみにしています。

日本ペン習字研究会
田中鳴舟会長



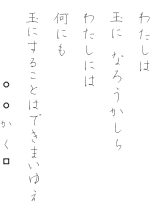
Q&A

Q. ○○かく□とは?

A. 手本課題にある○○かく□は、作品づくりの1つのお約束表現です。○○にはあなたの名前または雅号を書きます。(例: ゆうこかく、裕雲かく) □の位置には、雅印をお持ちであれば押します。

Q. 雅印は必要なの?

A. 絶対に押さなくてはならないものではありませんが、雅印の朱色が入ると作品がより引き立ちます。展覧会を機に雅印を1つ持っている作品制作の幅が広がります。硬筆作品では、2~3分印が適しています。事務局では、ご要望に応じた雅印を作成いたします。(仕上がりに2ヵ月程かかります)



出品要項 20 ページ

作品課題 24 ページ

出品用紙裏表紙

出品票 115 ページ

出品規定

下記よりご希望の部門をお選びください。

部門	出品資格	作品課題	用具	用紙寸法 (単位:約cm)	褒賞	出品料	表装・表装料	返送梱包料 作品1点につき
審査員部	展覧会 一般部審査員	自由		100×100以内 (仕上り寸法)	-	18,150円	額装または軸装で搬入 (実費斡旋有)	1,650円
自運創作部	出品委嘱 師範	自由 (参考文A) 今朝も (参考文B) 片ぞらに (参考文C) あらたま	市販の 筆記具	90×40 A3判 42×29.7	特別賞 準特別賞 奨励賞 参展賞	10,280円	①貸額 6,600円 ②パネル表装布 7,220円 ③買取額(アルミ枠) 20,500円	①貸額 660円 ②パネル表装布 1,650円 ③買取額 1,650円
臨書部	出品委嘱 師範	自由 (古典・古筆の臨書)						
規定部	1部	<規定部> 四段~準師範	課題D わたしと 課題E 秋らしい ※縦書き横書きのいずれか	68×26		8,470円	※①~③のいずれか をお選びください。 仕上がり寸法は下記 ※1をご覧ください。	
	2部	準初段~三段	課題F 雪のふる 課題G 旅から	B 4判 36.4×25.7		6,050円	<貸額> 2,000円	660円
	3部	4級~1級	課題H 古池や 課題I あかしゃの	A 4判 29.7×21.0		4,840円		
	4部	新規~5級	課題J 音楽が 課題K あすは	B 5判 25.7×18.2		4,470円		
漢字部	1部	<規定部> 準初段~師範	自由 (参考文L) 艶陽時節	B 5判 25.7×18.2	会長奨励賞	4,470円		440円
	2部	新規~1級	自由 (参考文M) 一心不乱	A 5判 21.0×14.8	師範会賞	3,630円		
かな部	1部	<かな部> 初段~師範	自由 臨書可 (参考文N) 衣手に	B 5判 25.7×18.2	研究会賞	4,470円		
	2部	4級~準初段	自由 臨書不可 (参考文O) 夏草や	A 5判 21.0×14.8		3,630円		
	3部	新規~5級	自由 (参考文P) ゆきゆきて	競書用紙B 14.8×10	特選	3,380円	本部にて	
手紙文部	1部	<規定部> 準初段~師範	自由 (参考文Q) 朝顔まつり (参考文R) お教室 ※用紙は縦使用 作品は台紙に貼り付け出品。	市販の便箋 (B5程度) または それに準ずる もの1~2枚	金賞 銀賞 秀作	5,440円	台紙に 貼りつけて	660円
	2部	新規~1級	参考文S この度は	市販の葉書 14.8×10	入選	3,380円	展示します	
筆ペン部	1部	<筆ペン部> 推薦~師範	参考文T 暮れ行けば ※用紙は縦使用	B 5判 25.7×18.2		4,470円		440円
	2部	準初段~五段	参考文U 青い空は	B 5判 25.7×18.2		4,470円		
	3部	新規~1級	参考文V 折りとりし	A 5判 21.0×14.8		3,630円		
通信教育部		課題W 日ざかり	規定部と 同じ	ハガキ判 14.8×10		3,380円		
自由作品部	段級位 問わず	自由 ※文字表現を主体とする	自由	B4以内 (36.4×25.7)	会長奨励賞 デザイン賞他	4,470円		660円

※ 自運創作部・臨書部・規定部1部の仕上がり寸法は以下の通りです。パネル表装は90×40cm、
貸額は90×45cm、買取額は90×45cmまたは90×40cmの寸法で、表装会社が適切なサイズを選択します。
※ パネル表装紙は今回展より廃止となりました。

第87回 全日本ペン書道展 作品公募のご案内

会 期 2024年7月21日(日)~7月22日(月)
時 間 午前10時~午後4時
会 場 東京都立産業貿易センター浜松町館
(〒105-7501 東京都港区海岸1-7-1)
主 催 日本ペン習字研究会 共催 日本書道学院
後 援 文部科学省・中国大使館・一般財団法人日本書写技能検定協会

【出品方法】
「ペンの光」購読者は、2024年2月号までに取得された段級位を元に、部門を選んでご出品ください。
ペンの光誌の段級位をお持ちでない方は、規定4部・漢字2部・かな3部・手紙文2部・筆ペン3部・
自由作品部の中からご出品ください。複数部門に出品できますが、1部門1作品となります。
作品課題は「ペンの光」2月号26ページから38ページおよびホームページに掲載しています。用具、
用紙寸法、出品料等は次ページの出品規定をご覧ください。

【作品受付】
提出期間 2024年4月15日(月)~5月7日(火) 必着
• 作品は書き上げたまま、表装をせずにお送りください(審査員は除く)。
• 出品票は「ペンの光」2月号・3月号・4月号・5月号の巻末およびホームページに掲載します。
作品1点につき、出品目録・出品票・原稿票を同封してください。コピーも可です。
• 出品料・表装料は審査終了後、審査結果通知とともに事務局より団体代表者または個人出品者
宛に明細書付きの郵便振替用紙をお送りいたします。ご確認の上、ご送金ください。7月初旬までに
上記書類が送付されていない方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。
• 支部登録を行っている個人出品者並びに団体出品の請求は、7月8日(月)発行予定のお取引明細
書にてご確認ください。

【出品先・搬入先】
〒162-8717 東京都新宿区早稲田町5-4 日本ペン習字研究会展覧会係
(宅配便利用の場合は、〒162-0042とご記入ください)。
※搬入の場合には、期間中の平日10:00~17:00までにお越しください。到着確認は承っておりま
せん。宅配便、レターパック等の追跡サービスをご利用ください。

【結果発表】
審査結果は6月中旬にホームページで発表し、2024年6月末~7月初旬に結果通知をお送りいたしま
す。支部・団体出品の場合には、代表者に全員分の結果通知を送付します。
「ペンの光」10月号(特集号)にて結果発表、上位受賞作品を掲載いたします。

【表彰】
2024年7月21日(日)授賞式・祝賀会を開催いたします。賞状・賞品または賞状が授与されます。
結果通知とともにお申し込み方法をご案内いたします。授賞式での受賞対象は特別賞・準特別賞・
奨励賞・参展賞・会長奨励賞・師範会賞・研究会賞・優秀会員賞、特選です。賞状・賞品(参展賞、
自由作品部は賞状のみ授与)が授与されます。(複数部門で受賞対象となった場合、表彰は1部門
のみとなります。優秀会員賞を除く)金賞、銀賞、秀作は会期終了後に賞状を送付いたします。

【作品返却】
会期終了後に順次ご返送いたします。支部・団体でご出品された場合もお作品は出品者個人宛に
ご返送となります。複数部門に出品された作品は部門ごとの返送の為、到着時期が異なります。
出品時のご住所から転居された場合は、事務局までご連絡ください。

【問合せ先】
日本ペン習字研究会展覧会係
電 話 0120-127-927 ※土・日・祝を除く午前10:00~17:00
FAX 0120-135-794 Eメール jimukyoku@gakubun.co.jp

規定1部

- 書体（楷・行・草）は自由です。変体仮名の使用は避けてください。

規定2部～規定4部・筆ペン2部・3部

- 書体（楷・行・草）体裁ともに課題手本にしたがってください。2種類あるものはどちらか好きなものを選んでください。

漢字部・かな部・筆ペン1部・手紙文部

- 題材をご自身でお選びになる場合は「参考文」の注意書きにしたがってください。
- 用紙は縦使用。※筆ペン1部参考文楷書、手紙2部参考文横書きは今回展より掲載なしとなりました。

通信教育部

- がくぶん「ボールペン習字講座」「総合ペン習字講座」受講生および修了生対象。書体（楷書）体裁ともに課題手本にしたがってください。
- 用紙は縦使用。

自由作品部

- 出品資格・段級位を問いません。どなたでも出品可能。
- 用具は市販の筆記具とあわせて、筆記具以外のものもご使用いただけます。（ブラシ、刷毛、竹ペン、ガラスペン、割り箸等も可）
- 用紙は縦使用。

団体出品

出品について

- 団体出品希望の支部長先生並びに団体は『団体出品規定』を展覧会係宛にご請求ください。前回展団体出品支部には1月下旬に郵送予定です。
- 結果通知、出品料のご請求、授賞式案内等各種書類は支部・団体代表者宛に送付いたします。
- 「団体出品目録」に必要事項をご記入の上、取りまとめた作品に同封してください。
- 支部または団体による団体出品は出品作品1点から受付けます。
- 「団体出品目録」が未提出の場合は個人出品者扱いとなりますのでご注意ください。

団体奨励賞

- 一般の部、児童・生徒の部ともに支部または団体で、特に出品に協力されたところには団体優秀賞および団体賞を贈ります。（団体優秀賞 一般部出品点数70点以上、児童・生徒の部出品点数85点以上／団体賞 一般部出品点数30点以上、児童・生徒の部出品点数50点以上）

展 示

出品作品は全て壁面展示いたします。（審査対象外となった作品は除く）

日 程

- ◆審査 6月2日（日）※審査は展覧会審査員のうち本年度当番審査員により行います。
- ◆児童・生徒の部授賞式 7月21日（日）東京都立産業貿易センター浜松町館
- ◆一般の部授賞式 7月21日（日）東京都立産業貿易センター浜松町館
祝賀会 7月21日（日）午後5時～午後6時30分終了予定
東京ポートシティー竹芝ポートホール
〔授賞式・祝賀会参加費 13,500円〕

出品詳細

共通事項

- 用紙寸法は各部の指定寸法にしたがってください。
 - 用紙の厚さの指定は特にありませんが、極端に厚いもの・薄いもの・書道用紙（半紙・画仙紙の類）は避けてください。用紙の重ね貼り、表装指示はご遠慮ください。
 - 加熱により変質する用紙・インクは使用しないでください。
 - 小紙を貼り合わせる場合、1枚につき500円の追加料金を加算します。
 - 作品受付前、輸送途中の紛失・破損については、責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 作品受付後、作品の取扱いには十分注意いたしますが、不可抗力により生じた作品・額の破損や汚損には責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 受付済みの作品の取り下げは応じかねます。
 - 返送梱包料の割引、免除等はいたしません。
 - 文部科学大臣賞・中国大使館賞・三上秋果賞・日本書写技能検定協会理事長賞・新聞社賞・奥田潜菴賞受賞作品は木枠の買取額に変更させていただきます。金額はアルミ枠同様です。
 - 応募作品の著作権は作者（出品者）に帰属するものとします。ただし、展示および作品集、広報宣伝（※1）の使用権は主催者に帰属します。
- ※1 最高賞受賞作品は後進指導用手本として使用させていただくことがあります。
- 4部門以上出品の方は優秀会員賞の受賞対象となります。
 - 作品課題〔参考文〕…自由に選文できます。参考文をお書きになっても構いません。
 - 〔課題〕…書体、体裁ともに課題手本にしたがってください。

- 応募作品は著作権、版權に抵触しないようにご配慮ください。万一問題が起きた場合は、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ※著作権の原則的保護期間は、著作物が著作物を創造した時点から、死後70年まで。思想や感情が創作的に表現されていれば、新聞署名コラム記事も著作物扱いとなります。

審査員部

- 審査員部作品に加え自由作品部に賛助出品できます。
- 用具は市販されている筆記具（筆ペン含む）をお使いください。（小筆使用不可、自由作品部は筆記具自由）
- 自額の場合、ガラスは使用しないでください。
- 不出品の際は協賛費として2万2千円をお納めいただきます。納入のない場合、審査員の資格を失います。
- 作品の差し替え、貼り替え等は別途代金を加算して請求いたします。
- 著作権、版權に留意してください。（上記共通事項参照）

自運創作部・臨書部

- 規定部・かな部・筆ペン部師範が出品対象です。
- 用紙寸法は最大90×40cmを厳守してください。但し90×40cmの用紙で出品の場合、パネル表装ではマットができませんので、ご了承ください。※今回展より出品サイズがA3以上になりました。
- 用具は市販されている筆記具（筆ペン含む）をお使いください。（小筆使用不可）
- 臨書作品は原本原帖のコピーと釈文を添付してください。